

社会福祉法人 植竹会

令和2年度 事業報告

法人理念

子ども達のゆたかな成長を支援し、高齢者のゆたかな老後を支援する

令和元年度 社会福祉法人 事業報告

- ゆたかごはん（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）
- 認知症サポーター養成講座（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）
- 知ってもらおう介護の仕事（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）
- なんでも福祉相談（群馬県圏域公益的事業）
- ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）訪問家庭 1件
- BCP策定検討（地震想定）
- かき氷の無料配布（地域の子ども達へお祭りなどがなくなってしまったため、かき氷の無料配布を行った。）
- SNSによる日常の発信 児童分野では、これまでホームページのブログ更新を行っていたが、加えて法人 Facebook、Instagram を活用して日々の保育の発信、ケアハウスの行事の様子などを発信した。

※様々な地域の企業の方や個人の方より、マスクや消毒液などの支援をしていただき、とても感謝をしています。

理事会・評議員会

令和2年度 事業報告

ゆたか保育園・ゆたか第二保育園

1) 行事関係

4月 入園式

6月 内科検診・歯科検診・年長組特別保育

7月 七夕・納涼祭

8月 プール遊び

9月 運動会

10月 年長遠足（伊香保グリーン牧場、榛名湖）

11月 焼き芋・保育見学

12月 餅つき・クリスマス会・発表会

2月 節分・内科検診

3月 ひな祭り・卒園式

毎月・・・誕生会・避難訓練・身長体重測定

※新型コロナウイルス感染症感染予防のため、4月、5月は登園自粛となり、行事は自粛となった。そのため、動画配信を利用し、園内の行事や、自粛で家庭にいる園児への絵本の読み聞かせ、体操などの配信、その後保育参観ができない保護者のためには、行事の動画配信を行った。発表会では、感染予防のため、2日間に分け行い、1家庭1人の来場をお願いしたため、ライブ配信も行った。年長組は、お泊り保育ができなかったが、特別保育として遠足、カレー作り、花火を行い、楽しむことができた。

2) 食育

離乳食・アレルギー食対応を引き続き行っている。また、栄養士による食育を実施。各年齢の成長段階にあった食育を担当と栄養士で意見交換し、食育を実施している。感染対策を十分に行いながら、うどん作り、クッキーづくり、すしバイキングなども行った。

特別保育では、カレー作り（ハウスよりいただく）を行うことで、料理への興味・関心が持てる様心掛けた。

3) 地域・小学校への関わり

今年度も、月1回のゴミ拾いを引き続き行う。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染感染予防のため、ケアハウスや小学校、地域の老人ホームなどの交流も出来なかった。オンラインでできる交流など、あらゆる対応を考えていきたい。

4) その他

職員研修もほぼなくなった状況であったが、秋頃より、オンラインでの研修を受けられる機会が増えたことで、研修動画の配信中であれば、短時間の職員も研修を受けることができた。卒園式では、一年間行事の自粛も多かったことから、サプライズとして卒園式終了後園庭でキッチンカーでのクレープやチョコバナナなど配ることで、少しでも思い出作りをすることができた。一斉メールの返信機能を使い、保護者への意見を聞く機会を増やし、年長組の県内のバス旅行などへ反映した。

5) 特別保育の実施状況

①ゆたか保育園（1号定員15名、2、3号定員 120名）

令和2年度 施設型給付費に係る加算(調整)認定通知書

このことについて、下記のとおり令和2年度施設型給付費に係る加算(調整)を認定します。

【参考】

施設名	ゆたか保育園
-----	--------

伊勢崎市長 賢 泰 雄

施設情報

地域区分	3/100	施設区分	幼保連携型認定こども園	処遇改善等 I 加算率	19%
1号定員	15 人	2号定員	70 人	3号定員	50 人
処遇改善等加算 II		人数 A	8 人	人数 B	5 人

入所児童数等	区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	教育認定(1号)児童数(広域入所含む)	14	14	14	14	14	14	15	15	14	14	14	14
	保育認定(2,3号)児童数(広域入所含む)	118	120	123	123	123	123	125	126	126	126	126	127
	副食提供日数(1号)	21日	18日	22日	21日	20日	20日	22日	19日	20日	19日	18日	23日

※副食提供日数について、20日を超える場合には、認定日数は20日となります。

延長保育事業（標準時間認定） 18時～19時 年間延べ利用者数 156人

(令和元年度 384人)

(短時間認定) 早朝1時間延長 年間延べ利用者数 7人

後1時間延長 年間延べ利用者数 741人

後2時間延長 年間延べ利用者数 34人

休日保育事業 64日開所 年間延べ利用者数 473人

(令和元年度 66日開所 年間延べ利用者数 659人)

病児・病後児保育事業（体調不良児型）年間延べ利用者数 48人

(令和元年度 年間延べ利用者数 64人)

病後児保育事業（伊勢崎市補助事業）年間延べ利用者数 0人

(令和元年度 年間延べ利用者数 5人)

一時預かり事業（自主事業） 年間延べ利用者数 90人

（令和元年度 年間延べ利用者数 182人）

②ゆたか第二保育園（1号定員 5名 2, 3号定員 45名）

令和2年度 施設型給付費に係る加算（調整）認定通知書

【参考】

このことについて、下記のとおり令和2年度施設型給付費に係る加算（調整）を認定します。

施設名	ゆたか第二保育園
-----	----------

伊勢崎市長 臂 泰雄

施設情報

地域区分	3/100	施設区分	幼保連携型認定こども園	処遇改善等Ⅰ加算率	14%
1号定員	5人	2号定員	24人	3号定員	21人
処遇改善等加算Ⅱ		人数 A	4人	人数 B	3人

入所児童数等	区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	教育認定(1号)児童数(広域入所含む)		3	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5
保育認定(2,3号)児童数(広域入所含む)		48	48	48	48	48	47	47	47	47	47	47	47
副食提供日数(1号)		21日	18日	22日	21日	20日	20日	22日	19日	19日	19日	18日	22日

※副食提供日数について、20日を超える場合には、認定日数は20日となります。

加算額合計

延長保育事業 8時～11時（自主事業） ほぼ全園児が利用

7時～8時 年間延べ利用者数 268人（令和元年度 529人）

22時～23時 年間延べ利用者数 39人（令和元年度 249人）

23時～24時 年間延べ利用者数 21人（令和元年度 67人）

一時預かり事業（自主事業）

年間延べ利用者数 50人（令和元年度 527人）

ゆたか保育園・ゆたか児童クラブ対応

年間延べ利用者数 87人（令和元年度 422人）

児童クラブ（自主事業） 3年生 1名

5) 資質向上の取り組み

今年度は、園内研修も集合で行えず、また、外部研修も前半は中止となることが多かった。後半になり、オンラインで参加できる研修には参加し、視聴機関が比較的長い研修などは、全職員が空いた時間に受講できるようにした。

幼稚園免許更新補助

ゆたか保育園 0名

ゆたか第二保育園 3名

6) 苦情および要望

特になし

要望・質問として

特になし

7) 新型コロナウイルス感染症対策

検温及び手洗いの徹底を引き続き行った。

③ゆたか児童クラブ

1) 利用児童数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常時	37	16	34	25	31	29	30	28	24	25	25	29	333
一時	92	117	144	228	162	137	140	167	180	143	139	156	1805
開設	25	25	26	25	25	25	25	25	24	22	22	25	294
平均	40.1	20.1	39.6	34.1	34.5	34.5	35.6	34.7	31.5	31.5	31.3	35.2	368.2

令和2年度平均利用数 30.68人

2) 資質向上について オンラインでの研修には積極的に参加した。

3) 3月の休校措置により、5月まで朝から受け入れを行う

その期間、様々なお菓子の寄付、飲み物、パンなど頂き、また、市内の企業の方が児童向けに竹馬づくり、水鉄砲作り、ペンキ塗りなど子ども達に触れ合う機会を作っていた
だき、様々な経験をする機会を持つことができた。

令和2年度 事業報告（支援内容）

今年度の取り組みについて記入してください。

1. 支援内容について

A. 放課後児童の健康管理、安全管理、及び情緒の安定について

登園時に声をかけながら子どもを視診し、日頃から手洗い、うがい、マスクの着用を習慣づけすることができた。保育室、遊具の点検を徹底し、危険が予想される場所等は声掛けを行うことで、危機管理の意識を高めることができた。日頃から子ども達との会話を行うことで信頼関係を作り、子ども達が学童内で安心して過ごせる環境作りを心掛けた。

B. 遊びの活動への意欲と態度の形成について

レクリエーションを取り入れることで、異学年同士の交流や、心身の発達を形成した。また、子ども達が中心となり遊びやゲームを行うことで、活動への意欲や自主性を高めることができた。戸外遊びでは、職員も参加して、一緒に遊びを行う中で、遊びが発展するよう助言するなど、楽しい遊びの時間が作れるよう意識した。

C. 自主性、社会性及び創造性を培うための指導について

子ども達のやりたいという意欲を尊重し、実際に実行できるように職員が助言し、実行に移すことで、子ども達の自主性が高まった。戸外遊びで公共施設をルールを守り利用することを通して、社会性を養った。季節やイベントの際に製作を行うことで、創造性や表現する喜びを感じることができた。

D. 家庭や地域での遊びの環境づくりに関することについて

子どもの学童での遊びや会話を送り出しの際に保護者へ伝えたり、家庭での子どもの様子を聞くことで、子どもの興味があることを把握し、遊びの環境づくりへ繋げた。学童周辺の公園や、小学校の校庭を利用することで、自分たちの活動している地域の遊びの環境を知り、遊びの環境を広げることができた。

2. 支援員等の資質向上への取り組みについて

子どもの日頃の様子や会話などを職員同士で共有し、いつでも確認できるようノートを作り、些細な事柄も記入することで、情報共有の強化を図った。日々の業務を踏まえ、ポジショニングを決め、様々な視点から子どもを見守れるようにした。リモート研修へもすすんで参加し、研修で得たことを職員会で共有し、実践した。

3. 事業計画の達成度について

事業計画を職員間で共有し、日頃から声を掛け合ったり、進捗を報告することで、ほぼ計画通りに行うことができた。感染症対策を心掛けながら、レクリエーションや戸外活動を通して、仲間と協力したり、思いを伝える事の大切さを学んだ。職員同士、日々子どもの情報を共有しながら安全な保育を行うことができた。

社会福祉法人 植竹会
特別養護老人ホームゆたか他（高齢部門）
令和2年度 事業報告

特別養護老人ホームゆたか
（ユニット型地域密着型特別養護老人ホームゆたか含む）
（ゆたかショートステイ含む）

ゆたかデイサービスセンター

ケアハウスうえたけ

ゆたか居宅介護支援事業所

伊勢崎市高齢者相談センター豊受
（伊勢崎市地域包括支援センター豊受）

基本方針（高齢部門）

- （1）高齢者と共に社会全体の構成者として個人を尊重し、人間らしさの追求をめざした生活の場とする。
- （2）利用者が自立意識を維持し、また高めるように、利用者の生活に総合的に関わりまた援助し、且つゆったりとした生活ができるように環境を整える。
- （3）地域福祉の拠点として、その役割と責任を担う意識を高め、行政、住民、地域社会、団体等と協力できるようにする。

令和2年度 事業報告（高齢部門全体）

テーマ：「ダイバーシティ（多様性）とソーシャルインクルージョン （社会的包摂性）の推進」

令和2年度は、新型コロナウイルス感染により、かつてない異例の年度となった。対面する事業や取り組みはほぼ無くなり、警戒レベルにより家族の面会も禁止（制限）、外部の慰問や訪問しての事業は中止となり、事業の実施がほとんど制限されてしまった。最大の危機は、1月に新館でコロナウィルスの陽性者の発生とクラスター対応をしたことが大きかった。今年度のターニングポイントとなり、今後のためのいろいろな示唆を頂いたことになった。社会福祉法人として、保育（児童育成）と高齢者介護の専門性を発揮できるように理論と実践を通し地域に貢献する予定を掲げたが、地域との接点もほぼ持てない年度だった。また地域活動もほぼ無くなり、地域共生社会の実現における行動ができなかった。多様化する社会や地域にいる課題を抱えた方々に対して解決や軽減に向かうように、次年度は制限の中でも自分たちの工夫を活かせるような活動をし、地域住民の福祉向上に寄与したい。

重点課題

- 専門職として、理論の習得と実践を通し、介護や生活支援の技術やスキルを高めることや対人援助職としての職員の成長のための研修の機会が減ってしまった。代わりに ZOOM 等オンライン研修が増えてきた。
- 見込まれていた外国人労働者は依然移動できず、元気な高齢者など多様な働き手も人的資源も導入できなかった。多様性を意識した組織づくりは引き続き行う。
- 地域住民が集い交流する場の提供ができず、地域住民に対する福祉に関する研修会の開催など、地域住民の地域福祉活動への参加を促進するための取り組みがほぼ無くなった。
- 施設設備や専門的人材などの資源を活用が出来なかった。住民に身近な地域における総合相談支援は少なくなったが行えた。
- 生活困窮者に対する支援活動や、居住支援の取り組み、中間的就労や就労訓練、生きがい就労などの働く場の提供等の機会を作れなかった。

具体化

○人財の確保、育成、定着

求人方法の多角化、日常から施設に関わる人を増やすことができなかった。
(学生ボランティア、アルバイト、慰問発表等)

○チームマネジメント

チームで仕事をするための意識づくり、スタッフの相談や困りごと等話し合いや共有できる場は多少設定できたと思われる。一斉メールの多用で、コミュニケーションの機会はいくらか増えたと思う。

○業務の洗い出しと見える化

大規模修繕に伴う施設の ICT 化（情報通信技術）の補助により、施設内 Wi-Fi 設備整備、防犯も含めたカメラの設置、ケア記録ソフト「ケアコラボ」導入、2階フロアのインカム導入が整備できたのは大きい。活用場面を増やし、今後も社内連絡方法の見直し、掲示物の多様化など含め、重層的な情報共有を行いたい。

○広報活動

広報活動は低調だった。コロナ陽性者発生時にいち早くホームページで情報掲載をした。

○地域に向けた活動

地域各種団体との接点を持たず、協働する機会が作れなかった。買い物難民対策としての地域公益活動の実施も数回、地域活動実践を広報する、生活困窮者への支援、多職種協働の機会が無くなった。認知症サポーター養成講座、地域ぐるみで防災や防犯等を通じた地域への種まきができず。

○防災への取り組み

防災訓練は施設内のみの実施。備蓄品等も含めた日頃からの備えを進められず。法人施設の BCP（事業継続計画）作成、近隣との平時からの取り組み、法人連携や地域住民組織との防災の取り組みもできなかった。

特別養護老人ホームゆたか 令和2年度 事業報告
(ユニット型地域密着型特別養護老人ホームゆたか及びショートステイを含む)

- 部署目標：①利用者一人一人の状態を確認し、その方の自立支援介護を指す。
②日常のケアを通し、安心、安全な環境を整え提供する。
③家族への情報提供を積極的に行い、現況を共有していく。
④職員一人一人の職場のエンゲージメントを高める。
⑤地域の方々との接点を増やし、地域から信頼される施設となる。

- 利用者にとって快適な生活環境をあまりつくれなかった。

新型コロナウイルス感染対策として、外部から持ち込まれないように面会の制限（禁止）もあり、家族の面会、外部の方の慰問やボランティアの支援がことごとく無くなった。利用者の日常生活も単調なものとなき場面が多く、刺激の少ない日常生活になってしまっている。集団活動もなかなか出来ずじまいった。一方、人数的には少ないが、ZOOM を使用してのオンライン面会を行えたことは今後にも活かせると思われる。

- 介護事故ゼロを目指す。

介護技術やスキルの向上を図り、利用者の安全に配慮し事故ゼロを目指したが、今年度新型コロナウイルスの陽性者発生も含め、感染対策に明け暮れた年度だった。災害対策のみならず感染対策にも重点を置いたリスクマネジメントのために今後も職員間、部署間での情報共有を図り、感染や事故の再発防止に努めたい。

- 職員育成のために継続的な資質向上を目指す。

研修会や勉強会へ積極的参加も低調だったが、ZOOM 等オンラインでの研修が増えてきているので、それらを習得し、情報を多く獲得できるような体制づくりを今後は目指していきたい。

- 職員の離職防止・定着を目指す。

職場内のコミュニケーションを活性化し、各職員にとって居場所となる職場になるよう悩みや困りごと等も相談ができるような職場風土は多少できたと思う。一斉メールの多用で情報共有は積極的に行った。

離職率：8.2%

令和2年度委員会報告

○感染・事故対策委員会

「新型コロナウイルスの予防・正しい知識と対策を身に付ける」という目標については、R3.1月新館にて新型コロナウイルスの感染はありましたが、本館への感染拡大はする事はなく終息する事ができました。

引き続き、一人ひとりが責任を持ち感染防止に努めていきます。

○身体拘束適正化・虐待防止委員会

2名の身体拘束対応者がおり、身体拘束解除に向けて取り組んでいますが、現状解除は難しく継続中となっております。引き続き、解除に向けて検討を行っていきます。また、全体研修では、身体拘束の他、虐待についてセルフチェックを行い、自身の振り返りを行いました。

今後も、自分の行動が身体拘束や虐待にあたっていないかを確認しながら日々の介護をしていきます。

○認知症委員会

「行動を把握しその方に合った対応方法をみつけていく」を目標に、各フロアで周辺症状のある利用者さんの行動や言動、気になる点を記録として残し行動歴を把握し、対応方法の見直しを行いました。

職員の対応により不穏や不安にもなる事を認識し、全職員が統一した介助を行っていきます。

○介護力向上委員会

「水分1500ml摂取」については、嗜好を考慮しながら飲水を促しました。もう少しで達成の1000～1500ml摂取の方が、毎月全体の半数前後いますので、コミュニケーションを交えながら、飲水を促し達成に向けて取り組んでいきます。

○口腔ケア委員会

歯科医の先生より口腔機能についての講義を受け、委員会より各職員へ申し送りを行い、口腔機能の知識向上に努めました。

今年度は、新たな取り組みとして、誤嚥リスクの高い方を中心に唾液腺マッサージの実施を行いました。結果は一年を通し実施できた方に関しては、効果が表れているので今後も継続して行い、また、対象者を増やしていき、実施していきたい誤嚥の予防につなげていきたいと思っております。

○褥瘡予防対策委員会

「褥瘡者を増やさない。現在の褥瘡者の完治」を目標に活動しました。

4月時点の褥瘡者3名のうち2名は完治、1名は逝去となっております。

個々に合わせたポジショニングや定時体位交換の実施で予防に努めましたが、今年度9名の褥瘡者の発生がありました。現在6名は完治、3名の方が治療継続中ですので、来年度に引き継ぎ、完治を目指していきます。

○リスクマネジメント委員会

各フロアのリーダーが集まり、業務改善・喀痰吸引・リスクマネジメントについて検討を行いました。

3つの議題だけではなく、各フロアの情報交換も行い情報の共有、特養全体の介護力向上に努めました。引き続き、来年度も取り組んでいきます。

○給食向上委員会

嗜好調査を実施し利用者さんからの意見や要望の聞き取りを行い、満足していただける食事の提供に努めました。

引き続き、厨房・管理栄養士・職員連携を図りながらその方にあった食事の提供に努めていきます。

事故報告

	長期入所	短期入所
転倒・転落	6	13
骨折	0	3
義歯誤飲	0	1
誤嚥	1	0
誤薬	0	4
皮膚剥離	15	11
爪剥離	3	2
切傷・擦過傷	1	5
内出血	8	6
痔	7	2
ずり落ち(尻もち含む)	5	15

苦情・要望 3件

- ・ ケアマネさんより、ショート利用キャンセルの連絡が入る。
理由としては、利用中の夜間帯部屋に来た男性職員に「衣類を何も持ってきてない」「袋しかない」と言われ、大柄の男性職員だったので怖い思いをした為との事。
→夜間帯に衣類の話は無かった事等、確認できた状況を伝えた所、ご家族からは「楽しく行っていたのでこれからも宜しく願います。」と、お言葉いただいています。
- ・ ご家族より、肌着上下、表面に名前が大きく書いてあり、間違えたのか二重線で訂正がしてあった。他の方にもそうしているのか教えて欲しい。
→確認できた事の報告と代替えの肌着を持っていき謝罪を行い、「また宜しく願います。」と、お言葉いただいています。
- ・ 配置医看護師より、入所者本人より医院に薬の問い合わせの連絡がきた。薬の確認と、今後は直接電話をかけてくるのは控えて欲しい。
→確認できた事と、入所者へも伝えた事を報告しています。

令和2年度 入退所者数

- ・従来型 入所者数 7名 退所者数 9名(うち看取り2名)
- ・ユニット型 入所者数 6名 退所者数 7名(うち看取り0名)

従来型		
	入所者	退所者
4月	1	1
5月	0	0
6月	1	0
7月	0	0
8月	0	1
9月	1	0
10月	0	0
11月	0	1
12月	0	0
1月	2	3
2月	2	1
3月	0	2
合計	7	9

ユニット型		
	入所者	退所者
4月	0	0
5月	0	1
6月	1	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	1	1
10月	1	1
11月	0	1
12月	0	0
1月	0	1
2月	2	1
3月	1	1
合計	6	7

令和2年度

特別養護老人ホームゆたか(従来型、ユニット型) 行事報告

月	フロア	実施内容	場所
4月	ユニット	おやつ作り(フルーチェ)	施設内
5月	新館	おやつ作り(フルーチェ)	施設内
6月	新館	おやつ作り(ピザ)	施設内
7月	ユニット	おやつ作り(プリンアラモード)	施設内
8月	ユニット	喫茶の日(かき氷)	施設内
9月	全フロア	敬老会	施設内
11月	3F	おやつ作り(スイートポテト)	施設内
12月	全フロア	クリスマス会	施設内
1月	全フロア	新年会	施設内
2月	2F・3F・ユニット	節分	施設内
3月	3F	ひな祭り	施設内

令和2年度委員会・施設内研修実施報告

委員会

○感染・事故対策委員会（1回/2月（偶数月）第1水曜日 10：30）

4/8 6/3 8/5 10/7 12/2 2/3

○身体拘束ゼロ委員会（1回/2月（奇数月）第1水曜日 10：30）

5/13 7/1 9/2 9/30 11/4 1/6 3/3

○認知症委員会（1回/2月（偶数月）第2水曜日 10：30）

4/15 6/10 8/12 10/14 12/9 2/10

○介護力向上委員会「水分・排泄」（1回/2月（奇数月）第2水曜日 10：30）

5/20 7/8 9/9 11/11 1/13 3/10

○口腔ケア委員会（1回/1月 最終水曜日 14：00）

4/22 5/27 6/24 7/29 8/26 9/30 10/28 11/25 12/30 1/27 2/24 3/31

○褥瘡予防対策委員会（1回/1月 第3水曜日 10：30）

4/22 5/25 6/17 7/15 8/19 9/23 10/21 11/18 12/16 1/20 2/15 3/17

○リスクマネジメント・たん吸引委員会（1回/2月（偶数月）第3月曜日 10：30）

4/6 6/1 8/3 10/5 12/7 2/1

○給食向上委員会（1回/1月 第1月曜日 14：00）

4/3 5/1 6/5 7/3 8/7 9/4 10/2

○入所検討委員会（1回/2月（奇数月） 第3火曜日 15：00）

5/19 7/21 9/15 11/17 1/19 3/16

全体研修

○感染症・事故（2年/年 7月、10月） 7/30 10/22

○身体拘束（2回/年） 7/30 12/10

○看取り・リスクマネジメント（1回/年） 11/26

○たん吸引（1回/年） 12/10

○褥瘡（1回/年） 11/26

○防犯 10/22

○虐待 7/30 12/10

○ハラスメント防止 10/22

会議

○経営会議（1回/1月第1月曜日 14:00）

4/6 5/8 6/1 7/6 8/3 9/7 10/5 11/2 12/7 1/4 3/1

○カンファレンス会議

（2階）7/14 9/8 10/13 11/10 12/8 2/9 3/9

（3階）4/8 6/4 7/1 8/5 9/2 11/4 12/2

（ユニット）4/23 5//20 6/17 7/15 10/21 11/18 12/16 2/17 3/17

（新館）4/15 5/26 6/23 7/28 8/25 9/29 10/27 11/24 12/22 2/16 3/23

○ユニット運営推進会議（2回/2月奇数月第3火曜日）

5/19 7/21 9/15 11/17 1/19 3/16

防災訓練

○防災訓練（2回/1年）8/28 3/19

地域との交流・訪問事業

○ゆたか祭り

○伊勢崎市立豊受小学校4年生「認知症講座」

○伊勢崎市立第四中学校1年生「知ってもらおう介護の仕事」

○馬見塚本町作品展

} コロナ感染防止の為中止

令和2年度ボランティア・慰問の受け入れ報告

- 伊勢崎市立第四中学校チャレンジウィーク
- 友好グループ（傾聴）
- ほほ笑みの会（傾聴）
- お手玉の会
- 飯田様（歌声コンサート）
- 市川様（ハーモニカ）
- 田上様（ハンドマッサージ）
- 須藤様 丸山様 松本様 高山様（傾聴）
- 松島様（レクリエーション）
- 岸様（カラオケ）
- 太田医療専門学校学生
- 根津様（カラオケ）
- サウンドフォーエバー（カラオケ）
- コザス&ポピーズ（カラオケ）
- ドリームスターズ&ひまわり会（カラオケ）
- 金井様（ピアノ・ソロ演奏）

コロナ感染防止の為中止

令和2年度 特養（従来型）実績

月		介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計
4月	実			5	20	24	49
	延べ			113	600	717	1430
5月	実			4	20	25	49
	延べ			124	896	730	1450
6月	実			4	20	26	50
	延べ			120	595	764	1479
7月	実			4	20	26	50
	延べ			124	583	796	1503
8月	実			4	20	25	49
	延べ			124	581	761	1466
9月	実			3	21	26	50
	延べ			90	630	770	1490
10月	実			3	21	26	50
	延べ			93	640	768	1501
11月	実			3	21	25	49
	延べ			90	619	720	1429
12月	実			3	20	24	47
	延べ			93	620	714	1427
1月	実			3	21	26	50
	延べ			93	622	711	1426
2月	実			3	21	24	48
	延べ			84	563	646	1293
3月	実			3	21	23	47

	延べ			93	651	713	1457
合計	実	0	0	42	246	300	588
	延べ	0	0	1241	7300	8810	17351

令和元年度 特養（ユニット型）実績

月		介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計
4月	実		1	6	9	3	19
	延べ		30	180	268	90	568
5月	実		3	6	7	4	20
	延べ		80	186	183	98	547
6月	実		2	6	7	6	21
	延べ		33	180	176	157	546
7月	実		1	6	7	5	19
	延べ		31	176	208	149	564
8月	実		1	6	8	5	20
	延べ		31	178	225	137	571
9月	実		1	6	7	6	20
	延べ		30	180	193	167	570
10月	実		1	6	7	6	20
	延べ		31	173	199	178	581
11月	実		1	6	7	6	20
	延べ		30	180	210	180	600
12月	実		1	6	7	7	21
	延べ		31	186	217	165	599
1月	実		1	6	7	5	19

	延べ		31	186	217	135	569
2月	実		1	6	8	4	19
	延べ		29	174	228	116	547
3月	実		1	7	9	4	21
	延べ		31	187	251	107	576
合計	実	0	17	72	89	62	240
	延べ	0	449	2136	2502	1706	6793

R2 年度 ショート実績

月		要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実			2	5	18	21	8	54
	延べ			9	69	412	427	239	1156
5月	実				3	19	21	9	52
	延べ				65	458	467	279	1269
6月	実				6	18	24	8	56
	延べ				90	389	518	240	1237
7月	実			2	9	19	22	8	60
	延べ			4	114	421	544	218	1301
8月	実			1	7	16	22	7	53
	延べ			2	118	397	554	199	1270
9月	実			2	8	15	21	9	55
	延べ			5	121	325	517	270	1238
10月	実			5	7	12	24	8	56
	延べ			13	123	306	593	233	1268
11月	実			4	9	19	25	7	64
	延べ			26	98	316	605	210	1255
12月	実		1	3	8	11	24	7	54
	延べ		2	29	102	308	638	217	1296

1月	実			1	4	15	21	7	48
	延べ			2	84	397	553	156	1192
2月	実			1	3	16	19	6	45
	延べ			3	59	328	516	165	1071
3月	実			3	6	14	22	5	50
	延べ			12	112	416	580	145	1265
合計	実	0	1	24	75	192	266	89	647
	延べ	0	2	105	1155	4473	6512	2571	14818

ゆたかデイサービスセンター 令和2年度 事業報告

目標：利用者一人一人の意思を尊重し、利用者の立場に立った事業を実施する。身体機能の維持向上や社会的孤立感の解消、並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図り、利用者の在宅生活を支援する。また、地域に密着し信頼されるサービスを展開していく。

コロナ禍により業務や行事、レクリエーション等において様々な変更を行い、状況に応じた対応ができ、利用者、家族等からも大きな不満もなく実施できた。

- 利用者の目標に合わせた通所介護計画書を作成し、各自に合わせたサービス提供が行えた
 - ・個別レクリエーションや運動、体操、フットマッサージ等の実施

- 研修会や勉強会においては、集まったの会議はできなかったが、資料などを基に職員同士で考え、話合う事ができた。
 - ・申し送りやカンファレンスの実施
 - ・疑問や不満等些細な事まで話し合えるようになった

- 地域との交流等は、ほとんどできなかった。
 - ・感染対策をしながら家族やケアマネとの対面での打ち合わせは減ったが、その代わりに電話やFAXでの情報交換が増え、問題なく情報の共有化ができた
 - ・新聞を毎月発行して、情報の発信ができた

令和2年度 行事報告（デイサービス）

月	行事	内容	個別レクリエーション
4月	健康講話	免疫力を高めて、元気で過ごす為に	毛糸でリナーを作ろう
5月	押し花風コースター	コースター作り	眉の整容
	ボーリング大会	ボーリング運動	
6月	健康講話	暑い日を健康に乗り切れるように	ヘッドマッサージ ハンドマッサージ
	おやつバイキング	8種類の様々なおやつを食す	
7月	七夕飾り	短冊に願いを書き、竹に飾る	踏み台作り
8月	納涼祭	金魚すくいゲーム	顔そり&眉毛カット フェイシャルマッサージ
9月	敬老会	敬老の日のお祝いで催しを行う	小さな麦わら帽子作り
10月			折り紙でハロウインのかぼ ちゃを作る
11月	健康講話	インフルエンザとコロナの違い、予防について	紙相撲で遊ぼう
	おやつバイキング	8種類の様々なおやつを食す	
12月	忘年会	数種類の鍋を1日交代で味わう	
	書き初め	日頃の練習の成果を書にする	
1月	上毛かるた大会	上毛かるたを行う	眼、瞼マッサージ
2月	節分	職員が鬼になり、豆まきを行う	ピンポン押しゲーム
3月	花見	送迎時に桜見物をする	あやとり

※毎月、誕生日会実施

ケアハウスうえたけ 令和2年度 事業報告

目標：利用者が主体的に生活でき「ここで生活できてよかった」と思えるよう支援する。
高齢者の「①きょういく」と「きょうよう」を支援する。

① 今日行くところがある。 ②今日用事がある

結果：コロナ禍であり利用者様に外出を控えて頂く様な状況もあったが、施設内でできる活動を密にならず楽しめるよう計画し実行した。

○毎日2回のバイタルチェックと体調確認の声掛けをこまめに行い、状態変化に気付けるよう対応できた。リハビリや体操の参加の声掛けを行い、体力維持向上に努めた。

○個々の困りごとや、生活状況の把握を行い、話を聞かせて頂く機会を設け、対応した。個別支援計画を作成し次年度から実施予定。

○コロナ禍であり地域行事の中止等があったため、交流の機会がほとんどない状態であったが、保育園や地域との交流が途切れぬよう連絡を取りながらできる行事を行った。出前や施設内で楽しめる行事を考え実施した。

職員：研修等の中止があり、書類上での情報共有や情報交換になったが、資料等を参考に理解を深めるよう努めた。

令和2年度行事報告

作成者（ケアハウス：浦野 優子）

	行 事	
4月	誕生日会	4月の誕生日のお祝い
	散歩会	施設周辺を周辺を散策、筋力低下予防を図る
	お食事会	出前をとり皆で食す
5月	誕生日会	5月の誕生日者のお祝い
	おやつ作り	チヂミ作り
	映画鑑賞会	リクエストを聞きDVD鑑賞
6月	散歩会	市民の森公園散歩
	料理クラブ	しそジュース作り
	しょうぶ見学	見学、散策、買い物
7月	誕生日会	7月の誕生日会のお祝い
8月	夕涼み会	食事会、談笑会
	外食ツアー	出前をとり皆で食す
	料理クラブ	くずもち作り
9月	敬老会	長寿をお祝い、皆様を祝う
	運動会	玉入れ、うちわ挟みゲーム等
	調理レク	たこ焼き作り
10月	誕生日会	10月の誕生日者のお祝い
	コスモス見学	見学、散策
	稲刈り	稲刈り体験
	仮装パーティー	ハロウィンで
11月	お食事会	そば、うどん出前を食す
	製作	クリスマスミニリース作り
	料理クラブ	餃子作り
12月	誕生日会	12月誕生日者のお祝い
	忘年会	お食事会、ミニパフェ作り
1月	新年会	お茶会
	誕生日会	1月の誕生者のお祝い
2月	誕生日会	2月の誕生者のお祝い
	節分	福豆にて節分を祝う
3月	誕生日会	3月の誕生日者のお祝い
	お食事会	お寿司を注文し食す
	料理クラブ	どら焼き作り

ゆたか居宅介護支援事業所 令和2年度 事業報告

○ケアプランの質の向上を目指す。

支援内容については、ケアマネジャー間で情報を共有し、事例検討を行ってきました。家族の協力体制や介護力、介護負担等を考慮し、自宅での生活が継続できるケアプランの作成を目指しました。コロナ禍でサービスの利用を控える方や、サービス事業所の休業等、計画的にはいかない時もありましたが、家族や関係者の支援体制の重要性を改めて感じる年度でした。

○地域の関係者や団体との連携を通じ、積極的な関係をつくる。

コロナ禍のため、ネットワーク会議や研修等の機会はなく地域の団体との連携をとることは困難でしたが、地域の他事業所のケアマネジャーとの情報交換や、サービス事業所との連絡は密に行うことができ、地域の感染症の感染拡大防止に努めることができました。

○専門性の地域展開を目指す。

県老協事業「知ってもらおう介護の仕事」や、認知症サポーター養成講座や、介護者教室等はコロナ禍の為開催はなく、地域での専門性の展開は難しい年度でした。

令和2年度 居宅介護支援実績

月		介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計
4月	実	27	35	9	18	4	93
	延べ	205	322	69	186	45	827
5月	実	25	34	9	19	5	92
	延べ	170	267	74	190	50	751
6月	実	27	35	12	21	4	99
	延べ	226	332	127	239	44	968
7月	実	25	36	10	4	4	79
	延べ	225	345	108	251	45	974
8月	実	26	36	11	22	3	98
	延べ	213	352	145	243	31	984
9月	実	25	35	14	22	3	99
	延べ	214	333	153	233	31	964
10月	実	27	34	11	23	3	98
	延べ	244	337	145	244	31	1001
11月	実	25	36	10	23	3	97
	延べ	232	367	160	249	31	1039
12月	実	25	38	13	22	3	101
	延べ	214	370	146	234	31	995
1月	実	25	35	14	18	2	94
	延べ	189	338	140	188	25	880
2月	実	27	33	15	18	2	95
	延べ	220	307	177	185	22	911
3月	実	31	29	14	19	2	95
	延べ	242	283	170	192	22	909

合計	実	315	416	142	229	38	1140
	延べ	2594	3953	1614	2634	408	11203

伊勢崎市地域包括支援センター豊受 令和2年度 事業報告
(伊勢崎市高齢者相談センター豊受)

市の委託事業として丸5年終了を迎えた。現在豊受地区の高齢者の総合相談窓口として機能し、定着してきていると考えている。今後も一層地域の中心的な相談窓口として周知活動を続けたい。

日々の相談等は介護保険関係や生活上の困りごとに関するものであるが、生活困窮や虐待、介護放棄、本人のみならず家族の精神疾患や8050に代表されるような複数の課題が家庭内に存在し複雑化しており困難事例も増えている。市の基幹型包括との協働になることもあるが、今後も地元地域の多くの課題をなるべく早期に発見し、対応していきたい。安心して暮らせる地域社会づくりのためにこれらの対応事例等も含め、課題の早期解決や軽減、発生予防に資する活動に繋げ、地域に有益な機関となれるよう努力したい。

○介護予防サービス計画・介護予防ケアマネジメント計画作成及び請求実績

- ・包括支援センター直営分（予防給付）76件、（マネジメント）103件
- ・委託居宅分（30事業所）（予防給付）703件、（マネジメント）709件

○地域ケア会議

（個別会議）9/29 （ネットワーク会議）10/30、11/30

○包括定例会及び職種別定例会

（定例会）6/17、7/21、8/18、9/15、10/20、11/17、3/4

（緊急センター長会議）12/4、1/12、2/8

（職種別）なし

（認知症地域推進員ネットワーク会議）11/26、3/11

（医療介護メンテナンス会議）なし

（豊受圏域協議体）9/9

○講演会・研修会・説明会等（参加）

- ・介護支援専門員研修会 10/2、11/11、12/15
- ・自立支援型地域ケア個別会議 9/30、3/26
- ・伊勢崎玉村認知症疾患医療連携協議会 なし
- ・フレイル予防啓発イベント なし
- ・認知症高齢者等徘徊保護対策訓練 なし
- ・介護関係職種のための口腔機能管理研修会（動画視聴研修）11/30

○認知症初期集中支援チーム 2 ケース相談中

○見守り件数 延べ 158 件

○事業（説明会・講演会等）（開催）

- ・豊受夏祭り 中止
- ・豊受地区住民体育祭 中止
- ・介護支援専門員アンケート 12 月
- ・民生委員と介護支援専門員交流会 なし
- ・医療介護多職種連携会議 なし
- ・ミニデイ支援（羽黒町、下蓮町は、第 3 土曜日）中止
- ・ふれあいの居場所支援 なし

○認知症サポーター養成講座 なし

○知ってもらおう介護の仕事 なし

○包括便り 年 3 回発行

○その他

（地域包括ケアを考える会） なし

令和元年度 地域包括 相談対応

●性別

男	258
女	226

不明 6

●町内別

町内	人数
除ヶ町	127
長沼町	105
富塚町	67
馬見塚町	60
羽黒町	52
大正寺町	26
下蓮町	21
下道寺町	13
国領町	6

●年代別

年齢層	相談数
40 歳代	2
50 歳代	17
60 歳代	60
70 歳代	176

80歳代	130
90歳代	40

不明 42

上蓮町	5
その他	20

●相談者

相談者	人数
家族	210
ケアマネジャー	67
本人	46
MSW	55
民生委員	38
基幹型包括	30
伊勢崎市役所高齢政策課	2
知人	12
区長	2
その他	20

●相談内容（複数回答）

認知症	108	飲酒	3
退院後の相談	42	癌末期	5
サービス利用の相談	72	徘徊	3
介護保険申請希望	48	発達障害	0
健康不安・体調悪化	119	ひきこもり	3
独居	9	家族の精神疾患	30
経済的困難	40	難病	3
入所の相談	7	後見人	5
虐待	21	その他	7
本人の精神疾患	30		